

National Clinical Database（以下 **NCD**）は臨床現場の医療情報を体系的に把握し、医療の質の向上に資する分析を行う。その結果をもって市民に最善の医療を提供し、適正な医療水準を維持することを目的とする。2023 年度は、以下の事業を実施した。

（1）医療情報を集積したデータベースの維持管理及び提供について

- 医療技術等の進歩を踏まえ、より適切で更なる利活用が可能となるようなデータの収集を目指し、各領域のデータ入力仕様の改修要望を学会から受け付け、入力プラットフォームの構築を進めた。
- **JCVSD-A**、**JCVSD-C**、消化器外科、呼吸器外科、小児外科、乳腺外科、**J-PCI** 等の領域で、**NCD** データに基づく社会的関心が高い手術のリスク情報等を施設診療科が確認できるフィードバック関連機能の開発等を通し、各学会による医療の質の改善活動を継続的に支援した。
- **DPC** 情報の集積システムの管理及び運用を継続し、**DPC** 情報の更なる利活用を目指し、研究等を学会と協議した。
- **NCD** において、がん登録データベース（乳癌・膵癌・肝癌・胃癌・食道癌・腎癌・前立腺癌・膀胱癌・胆道癌・精巣癌・腎盂尿管癌等の領域）の維持管理及び開発を進めた。
- 症例登録において、追跡調査の補助機能を継続的に開発し、フォローアップ情報の入力向上と状況把握を支援した。
- 利用者の入力負荷軽減のため、院内情報システムに症例アップロード用フォーマットの活用を促進した。

（2）データベースを活用した医療水準の評価及び臨床研究の支援について

- 各学術団体による学術調査やアニュアルレポートを支援し、対応の仕組みづくりを検討した。
- データの質の検証業務にリモート型を含め、各領域でのデータ検証を支援した。
- 自施設データダウンロード機能を継続的に更新し、医療品質の評価等に寄与した。
- 各領域との共同研究開発において、**NCD** データを用いた分析・評価を行う等、研究を支援した。

（3）データベースの運用による関連団体との業務連携について

- 専門医制度との連携において、各種申請システム等の開発及び維持管理を継続して行った。
- 産学官連携において、医療機器等に関する製造販売後調査等を支援した。
- 各領域の学術集会において、**NCD** のデータ収集状況や利活用の方法について周知した。

（4）法人の目的を達成するために必要な関連事業ならびに業務について

- 産学連携を積極的に推進し、データの利活用により、**NCD** の財政基盤の強化に貢献する施策を検討した。
- 個人情報の適正な取扱い及び知的財産の管理を行い、業務上のリスクアセスメントを適宜実施した。

- 機密性・完全性・可用性の向上のため、サーバーや作業端末の運用を見直し、クラウド化の対応を進めた。また、職員及び関係者の情報セキュリティに関する教育を継続して行った。
- ソフトウェアの品質向上に努め、システム保守及び管理業務の安定化を図った。適切なデータ管理のもとで、学術団体と協働した研究実施体制の整備支援を行った。

以上